



第3回全国足湯ボランティア交流会 in 東京 企画（案）

■ 開催趣旨

足湯ボランティアは阪神・淡路大震災以来、災害ボランティアの一つとして様々な場面で行われてきました。そして、そのつながりも全国に広がっています。2009年より全国の足湯ボランティアが集う全国足湯交流会が開かれてきましたが、東日本大震災を受けて、拡大版として東京で開くこととなりました。

全国各地で展開されている足湯ボランティア同士が集まることにより、それぞれの地域での実践・課題を共有しお互いの今後の活動に向けて活かす機会とします。また、足湯本来が持つ力に着目しつつ、足湯ボランティアが聞き取る「つぶやき」にどのような意味が隠されているのかをボランティアの目線から考える機会とします。

■ 主催

日本財団 ROAD プロジェクト×震災がつながる全国ネットワーク東京事務局

■ 共催

神戸大学学生ボランティア支援室／中越・KOBE 足湯隊
東京大学被災地支援ネットワーク

■ 日程

2011年12月3日（土） 13:00～18:00

東京大学向ヶ岡ファカルティハウス 2F セミナー室

2011年12月4日（日） 9:00～12:30

東京大学農学部弥生講堂アネックス ホクセイ・ギャラリー

■ 対象

足湯ボランティアに興味を持っている人

■ プログラム（予定）

12月3日 東京大学向ヶ岡ファカルティハウス 2F セミナー室

時間	内容	備考
13:00～13:15	開会のあいさつ 趣旨説明	担当：ROAD 事務局
13:15～14:45	各団体報告（各15分） ・ROAD プロジェクト足湯隊活動報告 ・七ヶ浜足湯隊活動報告 ・気仙沼足湯隊活動報告 ・FUKUSHIMA 足湯隊活動報告 ・金沢大学「灯」活動報告 ・中越・KOBE 足湯隊活動報告	
14:45～15:00	休憩	



15:00~15:30	東大被災地支援ネット 「つぶやきの分析について」	
15:30~18:00	パネルディスカッション テーマ：足湯の持つ不思議な力 パネラー（打診中） ・田中純一氏（金沢大学） ・天野和彦氏（福島県庁） ・吉椿雅道氏 （CODE 海外災害援助市民センター） ・加藤裕子氏 （レスキューストックヤード） ・松山文紀氏 （静岡県ボランティア協会） コーディネーター 頼政良太（被災地 NGO 協働センター）	足湯ボランティアは、「つぶやき」を聞くボランティアである。しかし、「つぶやき」を聞くだけが足湯の持つ力なのか？足湯本来の持つ力とは何か？各地で足湯に携わる方々から様々な目線で「足湯」について語っていただく。
18:00~18:05	閉会	

12月4日 東京大学農学部弥生講堂アネックス ホクセイ・ギャラリー

時間	内容	備考
9:00~9:05	開会あいさつ	担当：ROAD 事務局
9:05~10:00	足湯講習会 講師：吉椿雅道氏	
10:00~11:30	ワークショップ テーマ：つぶやきとは何か？ 会場に来ていただいた方も含めてグループになりワークショップを行う。実際に足湯で出会った人のつぶやきから何を感じるかを出しあう。	足湯で拾う「つぶやき」にどんな意味があるのかを実際に足湯ボランティアとして活動したメンバーの感じたことを元に考える
11:30~12:00	各グループ発表	
12:00~12:25	似田貝香門氏（東京大学被災地支援ネット） 村井雅清氏（被災地 NGO 協働センター）	
12:25~12:30	閉会のあいさつ	担当：ROAD 事務局